



凡 例		
浸水継続時間		
	～336時間 (2週間)	
	～168時間 (1週間)	
	～72時間 (3日間)	
	～24時間 (1日間)	
	～12時間	
	河川区域	
	警察	
	消防	
	病院	

浸水継続時間について

【留意事項】

- 高潮浸水想定区域図は、水防法（昭和24年法律第193号）第14条の3に基づき、想定し得る最大規模の高潮による氾濫が発生した場合に、浸水が想定される区域（浸水区域）、浸水した場合に想定される浸水の深さ（浸水深）、浸水の継続時間（浸水継続時間）を2種類の図面で表示したものです。
- 高潮浸水想定区域図の作成にあたっては、最悪の事態を想定し、日本に上陸した既往最大台風である室戸台風級の台風により、県内各地区に大きな影響を与える程度の経路を想定し、堤防等は既設条件に置いた段階で決壊するものとして、高潮シミュレーションを実施しています。
- この複数の高潮浸水シミュレーションの結果から、最大となる浸水区域、浸水深及び浸水継続時間を抽出し示しています。
- 高潮浸水想定区域は、地面の高さを基準とした浸水深を示したものであり、地下空間の浸水については反映していませんが、実際には、高潮が地下空間に流入する場合があります。
- 道路のアンダーパスや造船所のドック等、周辺の土地より極端に地盤が低い箇所では、局所的に浸水深が深くなります。
- 台風等により高潮が発生する状況では、同時に降雨も想定されるため、主要な河川については、河川整備の目標とする降雨による洪水が同時に発生した場合を想定しています。
- 高潮による河川内の水位変化を図化していませんが、高潮の遡上により、海洋から離れた地域でも河川から浸水することが想定されます。
- 高潮浸水想定区域図は、高潮浸水シミュレーションで再現しきれない局所的な地盤の凹凸の建築物の影響があること、想定していない雨水出水（内水）が発生すること等、浸水想定区域以外でも浸水が発生したり、浸水深が深くなる場合があります。
- 現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した台風から設定したものであり、これよりも大きな高潮が発生しないというものではありません。
- 確実な避難のためには、気象庁が発表する台風情報や、各市町が作成するハザードマップ、避難情報等を活用してください。

【用語の解説】
 浸水継続時間：0.5m以上の浸水が継続する時間